

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者の重度化が進み、疾病による入院の頻度高くなるなど、日常的にも嚥下障害、転倒、感染症による併発など、その緊急時の対応と適切な処置が要求される。	本人はもとより家族、事業所、医療機関との連携が円滑に行われ、重度化や終末期の対応が共有できるシステムを確立しておく必要がある。	入居者の状況に即した対応として、事業所がどの程度の対応が可能か検証し、重度化や終末期の指針・マニュアルを整備し、本人・家族にその趣旨を説明、理解を求めつつ、それが共有できるように取り組んでいきたい。	3ヶ月以内
2	35	避難救助訓練を実施しているが、重度の入居者が増えているため、その救助体制が問題点であり、勤務の状況から職員全員の参加が困難である。	職員が年に必ず2回以上の訓練を体験するため、避難訓練の回数の見直し、また重度者の避難体制を確立するため、近隣住民の協力や職員への迅速な連絡体制を確立させたい。	本年度スプリンクラーの設置が完了する予定である。近隣住民の協力体制は町内会の消防団員や商工青年部員との連携を図り、緊急時の協力を仰ぎ、職員の避難訓練の回数や方法の改善に取り組む。	一年以内
3	49	入居者の外出の度合いが、重度化に伴って年々減少傾向にある。軽度者は勿論、重度者もその症状に併せて外出の機会を高めたい。	利用者の重度化が進みホーム内においても身体的介助度合いが増加しているが、軽度者の外出を始め、重度者もその状態を考慮しつつ、外出の機会を増やしたい。	現職員の体制での外出の増加は難しい点があるので、地域ボランティアセンターや近隣住民(女性部員等)の参加の要請・協力を具体的に協議して、外出だけでなく傾聴ボランティアも兼ねた取り組みを進めたい。	6ヶ月以内
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。